

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	大腸癌 biweekly Cetuximab+FOLFIRI療法 (infuser pump)	臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2026年3月4日
疾患名	大腸癌	<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	14日
診療科名	消化器内科			実施回数	/回
登録医師名	住井 遼平				
適応	RAS遺伝子野生型の大腸癌				

Rb	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント				
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-			
1	Na ⁺ リナトゲル用100単位/mLリツツ 10r	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
2	レスタミンコーワ錠10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
3	生理食塩液	250	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること		
4	生理食塩液	100	mL	点滴静注	側管	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
	パロセトロン静注用0.75mg デキザート注射液 6.6mg	1	瓶																	1	瓶
5	生理食塩液	300	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7-ピカッ投与終了後、1時間は経過観察すること。 2回目以降は経過観察を省略可能	
	アネピタックス注射液	500	mg/m ²																		
6	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	120min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンは同時に	
	レボホリナート点滴静注用	200	mg/m ²																		
7	5%糖液	250	mL	点滴静注	側管	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナートとイリノテカンは同時に	
	イリノテカン塩酸塩点滴静注液	150	mg/m ²																		
8	フルオロウラシル点滴静注	400	mg/m ²	点滴静注	側管	全開で	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レボホリナート終了後 15分以内で投与終了	
	生理食塩液	50	mL																		
9	フルオロウラシル点滴静注	2400	mg/m ²	持続点滴	側管	46h	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	インフューザーポンプ 全量110mLに調製する。	
	生理食塩液	50	mL																		
10	Na ⁺ リナトゲル用100単位/mLリツツ 10r	1	本	静注			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
11																					

備考欄

文献
Comparison Between Biweekly and Weekly Cetuximab in Patients With Metastatic Colorectal Cancer:A Meta-analysis

減量・中止基準
mFOLFOX6, FOLFIRIにおいては同レジメンにおける注意を参照

<Cetuximabの減量基準>

Grade3以上の皮膚障害の発現回数	本剤の投与	本剤投与後の状態	本剤の用量調節
初回発現時	投与延期	Grade2以下に回復	250mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
2回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	200mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
3回目発現時	投与延期	Grade2以下に回復	150mg/m ² で投与継続
		回復せず	投与中止
4回目発現時	投与中止	-	-